

希望ヶ丘こども園のSDGsの取り組み

初夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃より本園の教育・保育活動にご理解・ご協力をくださいまして、厚く御礼申し上げます。希望ヶ丘こども園は、SDGsを日頃の保育の中で実践し、子ども達一人一人の思いを大切にしたり、みんなで考えたりする活動を重視して更に充実した教育・保育に努めています。今年度は今までの活動（SDGsだより No.1～No.6をお読み下さい。）に「電気の大切さ」を考える活動をプラスして活動しています。No.7では「でんきはどの位使われているの？」の年長さんの活動をご紹介します。

『 でんきはどの位使われているの？ 』

5月、正面玄関にスマートロックを配置しました。登園・降園時間だけでなく、園内での日常生活で園児が目につきやすい場所に設置したので保護者の皆様も気付かれたことと思います。子ども達はすぐにスマートロックの色に興味津々。「これはなに？」と先生に質問していました。先日、環境教育の視点でスマートロックで「電気の大切さ」を教えに専門の先生が年長さんにお話をしてくださいました。「黄色や赤色になった時には使わない電気は消すことが大事だね。」と教えてくださったり、「スマートロックが緑色になるようにするにはどうすればいいのかな？」と子ども達に考えさせたりしていました。年長の子ども達は早速こまめに電気を消したり、時計を見るようになったりと自分たちができることをやっています。

職員室にはモニターを設置しました。

スマートロックで電気の大切さを学んだ子ども達、職員も省エネ活動を意識して電気を大切に使っています。

こども達にスマートロックの話をすると、「SDG s だね！」と自然とその言葉がでてきました。すぐにできる事もたくさんあります。ご家庭でもエアコンの設定温度を下げすぎないようにしたり、コンセントをこまめに抜いたり今年度も園児・職員・保護者の皆様が一体となって、SDG s に取り組んでいけたらと思っています。

今後も保護者の皆様のご支援のもと、継続してSDG s を大切にした教育・保育を目指していきたいと思っています。